

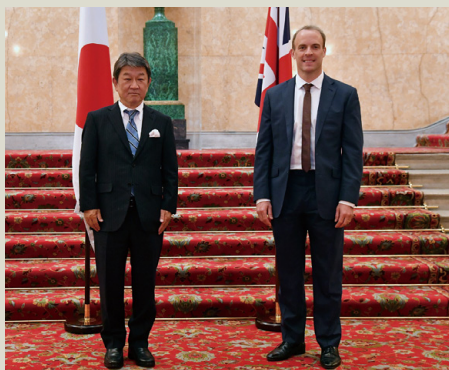
# 茂木外相、英国訪問

8月5日(水)～7日(金) ロンドン

inout  
&

茂木外務大臣は、8月5日から7日にかけて、英国を訪問した。エリザベス・トラス国際貿易大臣との間で新たな日英間の経済パートナーシップ構築について協議。また、ドミニク・ラーブ外務・英連邦大臣兼首席大臣と新型コロナ対策をはじめ、「2+2」や安保防衛協力、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた協力について、意見交換を行った。

閣僚の外国訪問は約半年ぶり。茂木外相はその後東南アジアや太平洋諸国への訪問を重ねる。感染防止策を講じながら、対面による「外交」再開の兆しが見え始めてきた。



対面でラーブ英外相と会談した茂木外相

## 「中央アジア+日本」対話・外相テレビ会合

8月11日(火) オンライン開催



テレビ会合に臨む茂木外相

カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタンが参加する「中央アジア+日本」対話・外相テレビ会合で、茂木外務大臣が議長を務めた。この6カ国による対話・協力の枠組みは2004年から継続され、日本は中央アジアの「開かれ、安定し、自立した」発展を支える「触媒」として、中央アジアの地域協力を後押ししてきた。今次会合では、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の中での域内協力および日本との協力について意見交換するとともに、2022年の外交関係樹立30周年を見据えた協力の在り方に関する議論を行った。